

当ファンドは特化型運用を行いません。

グローバル担保付き債券ファンド（為替ヘッジあり） 愛称：たんぽポンド 分配金のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「グローバル担保付き債券ファンド（為替ヘッジあり）愛称：たんぽポンド」は、2019年12月16日に決算を行ないました。当期の分配金について、以下の通りとしましたので、ご報告いたします。なお、次ページ以降では、設定来の運用実績などについてご紹介いたします。

分配金実績と基準価額について

	グローバル担保付き債券ファンド （為替ヘッジあり） 愛称：たんぽポンド
当期の分配金 （2019年12月）	15円
前期の分配金 （2019年6月）	0円
基準価額（税引前分配金控除後） 2019年12月16日	10,120円

基準価額の推移について



- ※ 基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。
- ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

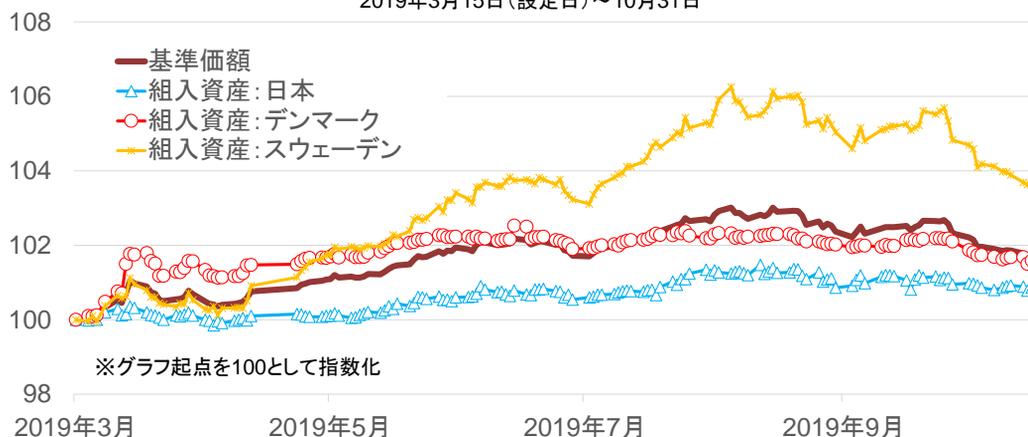
※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

設定来の運用状況について

当ファンドの基準価額は、2019年10月末時点で10,178円となり、設定来の騰落額は+178円となりました。基準価額変動の要因分解を見ると、スウェーデン・カバードボンドのキャピタル部分が基準価額の主な押し上げ要因となりました。

＜当ファンドの組入資産と基準価額の推移＞

2019年3月15日(設定日)～10月31日

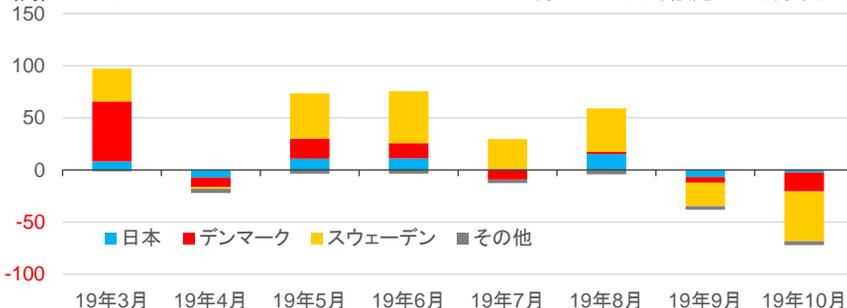


＜設定来の基準価額変動の要因分解＞

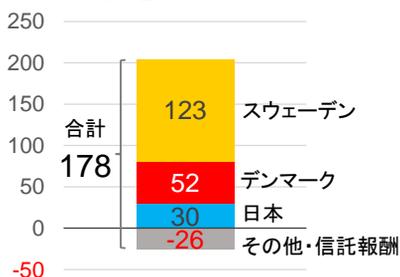
2019年3月～10月*

* 3月については、設定日から月末まで

■ 月次ベース



■ 設定来合計



※組入資産は、当ファンドが投資対象とする各マザーファンドの基準価額の値動きを示しています。

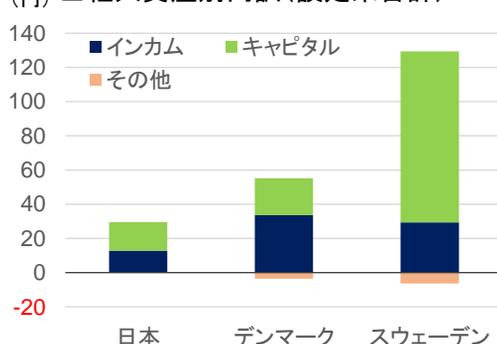
日本 : 住宅金融支援機構債券マザーファンド
 デンマーク : デンマーク・カバードボンド(為替ヘッジあり)マザーファンド3
 スウェーデン : スウェーデン・カバードボンド(為替ヘッジあり)マザーファンド

※基準価額の要因分解は概算値であり、傾向を知るために算出した参考値であることにご留意ください。

※要因分解データは、四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後のそれぞれ1万口当たりの値です。

■ 組入資産別内訳(設定来合計)



※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

市場動向について

日本

米中貿易摩擦に伴う世界景気の減速懸念などを背景に、10年国債利回りが緩やかに低下する中、機構債の価格は、夏場にかけて堅調な推移となりました。しかしながら、米中協議の進展期待を背景に秋口にかけて10年国債利回りが緩やかに上昇する中、機構債の価格は上値の重い展開となりました。

デンマーク

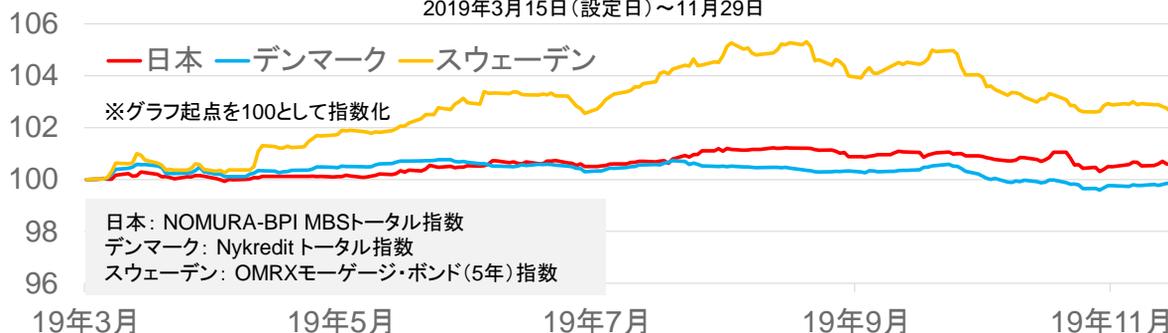
米中貿易摩擦激化や欧州景気の減速懸念などを背景にデンマークの長期金利は低下し、10年国債利回りが過去最低を更新する水準で推移しました。このような中、カバードボンドは、**金利低下に伴う期限前償還の増加が重石となり**、夏場にかけて上値の重い展開となりました(詳しくは、次ページ参照)。秋口にかけては、デンマークの主要経済指標は軟調となったものの、欧州景気の回復期待などを背景に欧州の長期金利が上昇する中、デンマークの長期金利も上昇基調となり、カバードボンドの価格は下落基調となりました。

スウェーデン

米中貿易摩擦激化や欧州景気の減速懸念などを背景にスウェーデンの長期金利は低下し、10年国債利回りが過去最低水準を更新する中、カバードボンドは、夏場にかけて価格が上昇基調となりました。しかしながら秋口にかけては、スウェーデンの経済指標の改善などを背景に、長期金利が上昇基調となる中、カバードボンドの価格は下落基調となりました。

＜主要指数(現地通貨ベース)の推移＞

2019年3月15日(設定日)～11月29日



＜10年国債利回りの推移＞

2019年3月15日(設定日)～11月29日



Nykreditほか、信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

金利低下時の担保付き債券の値動きについて



今年夏場にかけての金利低下局面で、デンマークのカバードボンドの価格はあまり上昇しませんでした。どうしてでしょうか？

A | デンマークでは、夏場にかけての金利低下局面で、住宅ローンの繰上返済が増え、カバードボンドの期限前償還が増加したことなどから、想定していたよりも残存期間（デュレーション*）が短縮化し、価格上昇が抑えられた**ものと考えられます。

* デュレーションとは、債券に投資した資金がどのくらいの期間で回収されるかを示す指標。また、金利変化に対する債券価格の変化の大きさも表す指標として知られる。一般的に、デュレーションが長いほど、金利上昇時の価格下落率が大きく、金利低下時の価格上昇率が大きい。

** 金利低下による価格上昇が抑えられることに加え、額面を上回る価格で取引されている担保付き債券について、期限前償還が行なわれた場合は、額面価格との差分の損失（キャピタルロス）が発生する。

<担保付き債券について>

日本	デンマーク	スウェーデン
機構債	カバードボンド	カバードボンド
期限前償還あり	期限前償還あり	期限前償還なし

- 今回、金利低下局面でデンマークカバードボンドの価格上昇が抑えられたのは、「期限前償還あり」の担保付き債券の特徴をあらわしたものとと言えます。
- 担保付き債券は、住宅ローンなどの不動産担保ローンを裏付けとして発行されます。住宅ローンの借り手は、元金の一部または全部を繰上返済することが可能であるため、担保付き債券の発行体は、多くの場合、満期を待たずに繰上償還できる権利をもっています。住宅ローンの借り手による返済に向けた行動は、主に金利動向に応じて変化する傾向があることから、「期限前償還あり」の担保付き債券の価格は、金利動向などに応じて、今回のように一般的な債券の価格特性とは異なった値動きをすることがあります。
- なお、金利低下時、担保付き債券の中でも低クーポンの銘柄の債券価格は堅調な一方、金利の高い住宅ローンを担保としているような高クーポンの銘柄の債券価格は、期限前償還が増加し、価格が抑制される傾向がみられます。

※上記は一般論であり、実際と異なる場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に貸付債権担保住宅金融支援機構債券(以下、旧住宅金融公庫発行の貸付債権担保住宅金融公庫債券も含めて、「機構債」といいます。)およびカバードボンドなどの債券を実質的な投資対象としますので、機構債およびカバードボンドなどの債券の価格の下落、機構債およびカバードボンドの担保債権の債務者の信用状況の悪化、機構債およびカバードボンドの発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】
【期限前償還リスク】【期限前償還に伴う再投資リスク】【集中投資リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「グローバル担保付き債券ファンド(為替ヘッジあり)愛称:たんぼボンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

ファンドの特色

1

信用力が高いと判断される担保付き債券*を主な投資対象とします。

* 当ファンドでは、金融機関が保有する貸付債権を担保とする債券を、担保付き債券と呼びます。

※ 流動性などを考慮し、各国の国債などに投資を行なう場合があります。

2

日本の機構債**に加え、デンマークおよびスウェーデンのカバードボンドに分散投資します。

** 住宅金融支援機構が発行する貸付債権担保住宅金融支援機構債券(旧住宅金融公庫発行の貸付債権担保住宅金融公庫債券も含みます)をさします。

3

外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。

※ 為替ヘッジによって為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※ 為替ヘッジを行なう際、対象通貨の短期金利より円の短期金利が低い場合には、為替ヘッジコストを支払い、対象通貨の短期金利より円の短期金利が高い場合には、為替ヘッジプレミアムを受け取ります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

当ファンドの投資対象には、一般社団法人投資信託協会規則の信用リスク集中回避のための投資制限に定められた比率を超えるまたは超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、当ファンドは当該支配的な銘柄に集中して投資する特化型運用を行ないます。そのため、当該銘柄に経営破たんや経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／債券
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2029年6月15日まで(2019年3月15日設定)
決算日	毎年6月15日、12月15日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日が下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・コペンハーゲン証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・デンマークの銀行休業日 ・スウェーデンの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。
 <申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し2.2%(税抜2%)以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.759%(税抜0.69%)以内 各計算期に適用する運用管理費用(年率)は、前計算期終了日(第1計算期は設定日前営業日)におけるわが国の新発10年国債の利回りに応じて変動します。 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などが、その都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに
 応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○		

(資料作成日現在、50音順)

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。